



2020年12月8日

ペプチドリーム株式会社

<https://www.peptidream.com/>

(証券コード：4587 東証第一部)

仏 Amolyt 社との戦略的共同研究開発および ライセンスオプション契約締結のお知らせ

ペプチドリーム株式会社（代表取締役社長：リード・パトリック、本社：神奈川県川崎市、東証第一部）は、フランス・リヨン市に本拠を置く Amolyt Pharma（以下 Amolyt 社）との間で、内分泌系の希少疾患であり重篤な合併症を伴う先端巨大症（アクロメガリー）を適応症とする新たな治療薬の開発を目的とした、成長ホルモン受容体拮抗薬（GHRA）候補ペプチド化合物の最適化に関する戦略的共同研究開発およびライセンスオプション契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。Amolyt 社は、将来的な臨床開発の実施にあたり、当該候補化合物のライセンス受否の選択権（オプション）を有することとなります。

本契約の締結に伴い、当社は今後、GHRA 候補ペプチド化合物に関し、Amolyt 社からライセンスオプション行使フィー、開発および商業化の進捗に応じたマイルストーンフィー、および製品化後は売上金額に応じたロイヤルティを受領する可能性があります。

【Amolyt Pharma CEO ティエリー・アブリバのコメント】

「新たなペプチド治療薬の創出に関し卓越したプラットフォーム技術を有し、また多くのグローバル製薬企業との間でパートナーシップを構築してきたペプチドリーム社との提携を大変うれしく思います。今回の提携は、アンメット・メディカル・ニーズが根強く残る先端巨大症の領域において当社パイプラインを拡大する可能性につながるものであり、まさに当社の戦略と適合するものと考えております。当社は、副甲状腺機能低下症を適応症とする主力パイプライン AZP-3601 をはじめ、内分泌性または代謝性希少疾患領域におけるペプチド治療薬の開発経験を豊富に有しており、先端巨大症の治療を必要とする患者さんへ、有望な治療薬を届けることができるものと信じております。」

【ペプチドリーム株式会社 代表取締役社長 リード・パトリックのコメント】

「当社が見出した GHRA 候補ペプチド化合物の開発を主導し、また先端巨大症に苦しむ患者さんに新たな治療パラダイムを提供していくうえで、Amolyt 社は最適なパートナーであると考えております。同社のペプチド治療薬の開発能力には目を見張るものがあり、当社の重要な候補化合物の開発がより一層推進されていくものと確信しております。今後、相互に実りのあるパートナーシップを築けることを期待しております。」

【先端巨大症（アクロメガリー）について】

先端巨大症は、一般的には下垂体の腺腫（良性腫瘍）が原因で生じる慢性の希少内分泌疾患であり、成長ホルモン（GH）の過剰分泌によってインスリン様成長因子（IGF-1）値が異常に高くなるという特徴があります。主な症状として手足や顎の肥大があり、併存疾患及び合併症として挙げられるものには、心血管疾患、心筋症（潜在的には心不全症状へと進行）、耐糖能異常（及びその後の糖尿病発症）、性腺機能低下症、がん、骨関節疾患、脳血管イベント、睡眠時無呼吸症候群や呼吸器障害などがあります。40 歳～45 歳での発症が多く、進行が遅いことから発病から確定診断までに 4 年～10 年かかることもあります。患者数は米国では約 26,000 人、欧州では約 35,000 人と推定されています。（出典：Burton et al. Pituitary 19:262 (2016)、Giustina et al. JCEM (2020)、Adelman et al. IJGM(2013)）

【ペプチドリーム株式会社について】

ペプチドリーム株式会社は、「日本発、世界初の新薬を創出し社会に貢献したい」という創業理念のもと、2006 年 7 月に設立されました。独自の創薬探索システム PDPS (Peptide Discovery Platform System) を用い、極めて広範囲にわたる特殊ペプチドを多数（数兆種類）合成し高速で評価を可能にすることで、創薬において重要なヒット化合物の創生、リード化合物の選択、もしくはファーマコフォアの理解を極めて簡便にしかも効率的に行えるようにしました。これによりペプチドリーム株式会社は特殊ペプチドを用いた創薬企業の世界的なリーダーとして世界中の病気で苦しんでいる人々に画期的新薬を提供することを使命として、研究開発に取り組んでおります。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

ペプチドリーム株式会社 IR 広報部 岩田

TEL : 044-223-6612